

東日本旅客鉄道株式会社
 ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社
 JR東日本メカトロニクス株式会社

Suica と地域交通 IC カード機能を併せ持つ 2in1 カード 「地域連携 IC カード」実現の取り組みについて

- 東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」）、ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社（代表取締役社長：石塚茂樹、以下「ソニー」）及び、JR東日本メカトロニクス株式会社（代表取締役社長：椎橋章夫、以下「JR東日本メカトロニクス」）は共同で、Suica と各地域の交通系 IC カードを 1 枚のカードにまとめられる 2in1 カード「地域連携 IC カード」とその発行システムの開発を行い、2021 年春の提供開始を目指します。
- 三社は協力して地域の多様なサービスと Suica の結びつきを高め、地域特性に応じた安全でシームレスな生活交通ネットワークの構築に取り組んでいきます。

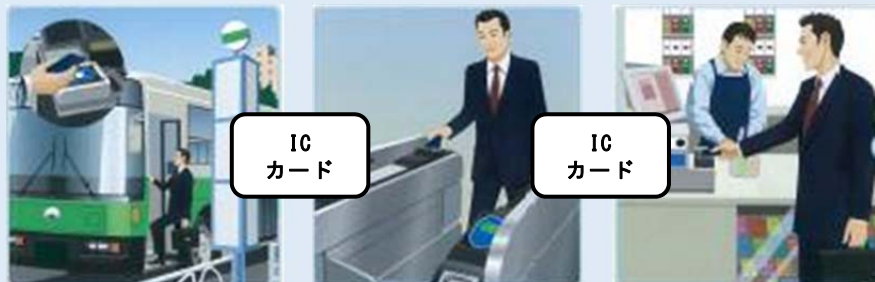
今回開発する「地域連携 IC カード」は、バスの定期券や各種割引等の地域独自サービスと、Suica エリア等で利用可能な乗車券や電子マネー等の Suica のサービスを、1 枚のカードで利用可能とするものです。

現在、国内では、2013 年に始まった全国 10 種類の交通系 IC カード相互利用サービスにより、Suica1 枚で公共交通機関を利用できるエリアが大幅に拡大しています。しかし、導入費用や運用面の課題により、交通系 IC カードがまだ導入されていない地域も存在します。

そこで、地域交通事業者による交通系 IC カード導入を促進するため、三社は各地域の IC 乗車券と Suica の基本機能が 1 枚のカードに共存できる新たな「地域連携 IC カード」を開発します。地域交通事業者は 1 枚のカードで地域交通に必要な独自サービスを提供しながら Suica の既存インフラを活用できるため、システム投資を抑え、運用に関する負担の軽減が可能となります。

【地域連携 IC カード】

- ・JR 東日本 → 導入サポート
- ・ソニー → FeliCa OS の拡張
- ・JR 東日本メカトロニクス
→ 発行に関する開発等



地域交通機能

- ・地域交通定期
- ・独自ポイント等

Suica 乗車券機能

- ・Suica 定期券
- ・SF 利用等

電子マネー機能

- ・Suica 加盟店での電子マネー利用

JR東日本は、これまで Suica で培ってきた知見を活用し、地域交通事業者による「地域連携 IC カード」の導入をサポートします。そして、地域ニーズに応じ必要な機能を組み合わせて Suica の共通基盤化を進め、多様なサービスを利用できる環境の実現を目指します。

ソニーは、FeliCa 技術を通じて交通系 IC カードに貢献してきました。今回、IC カードに必要な FeliCa OS の機能を拡張し、「地域連携 IC カード」実現のための技術開発を担うことで、交通市場における ICT 化推進サポートに取り組んでいきます。

JR東日本メカトロニクスは、交通系 IC カードの発行を担っており、今回、新機能の IC カードへの実装、試験及び検証と、IC カード発行に関する設備開発を行います。

国内における交通系 IC カードの利用シーンが拡大することにより、地域の利用者のみならず、訪日外国人旅行者等の来訪者の利便性も大きく向上することになります。

JR東日本、ソニー及びJR東日本メカトロニクスは、今後も交通系 IC カードによるお客さまサービスの向上と、地域の活性化に積極的に取り組んでまいります。

*記載されている会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。